

編集 後記

各地で記録的な猛暑となりました。第62巻第8号では原著1編、研究ノート2編、資料1編を掲載しております。4編のうち3編は地域高齢者を対象とした調査研究です。原著は都市の公営住宅における高齢者の低栄養と社会的孤立状態との関連を明らかにしたもので、公営住宅では低栄養とともに社会的孤立が潜在化している可能性がある点に注意を払うべきであると述べています。研究ノートは地域で自立した高齢者の転倒リスクの関連を示したもので、運動機能低下が要因の一つであるとともにリスクには性差があることを指摘しています。資料は過疎地域から転出した要介護・要支援者の特性を示したものです。いずれも、今後の地域包括ケアシステムの構築にあたり多くの示唆を与えてくれる内容です。また、特定保健指導の効果について研究ノートとしてまとめられていますが、これは地方自治体からの報告です。地方自治体では保健医療福祉に関する様々な事業が実施されておりますが、この報告のように事業評価に付随して論文という形でまとめてくださると、他の地方自治体で事業を実施する際に参考にすることが容易になります。研究教育機関に加え、地方自治体からの投稿も心より歓迎致します。
(上原里程)

次号予告 (第62巻・第9号)

原著

地域高齢者の主観的健康感の変化に影響を及ぼす
心理・社会活動要因
5年間の追跡研究……………山内加奈子, 他

研究ノート

看護職の眠気と職業性ストレスの関連
……………加藤千津子, 他
バーンアウトおよびワーク・エンゲイジメントの
観点から分析したコンビニ受診と医師の疲労と
の関連性……………松本悠貴, 他
大阪府における2014年の麻疹の発生動向のまとめ
麻疹排除に向けて……………八木由奈, 他

eラーニングを活用した禁煙治療・支援のための指導者 トレーニングのご案内

日本公衆衛生学会では、たばこ対策専門委員会の活動の一環として、日本禁煙推進医師歯科医師連盟が開発した禁煙治療・支援のためのeラーニングと簡易Web学習を活用することになりました。

本プログラムは、「特定健康審査・特定保健指導における禁煙支援から始めるたばこ対策」(日本公衆衛生協会, 2013年)に掲載されている「健診等の保健事業の場における禁煙支援のための指導者用学習教材」に準拠しており、厚労省が発行した「禁煙支援マニュアル(第2版)」としても採用されているものです。

全国の都道府県や市町村、保健所において、指導者研修の一環としてご活用ください。参加は、行政機関だけでなく、医療機関や健診機関、薬局・薬店、職場に勤務する保健医療従事者も含めて可能です。なお、個人での参加も可能です。

【トレーニングの開催概要】

- ・ 申込み期間：2015年10月1日(木)から学習終了日まで随時申込可能
- ・ 学習期間：2015年12月1日(火)から2016年2月26日(金)
(期間中随時学習可能)
- ・ 詳細は、日本公衆衛生学会のホームページをご参照ください。

<http://www.jsph.jp/activity.php?no=397>

【eラーニングやWeb簡易学習に関するお問い合わせ先】

公益社団法人 地域医療振興協会 西日本事務局 増居志津子 jstop@outlook.jp